

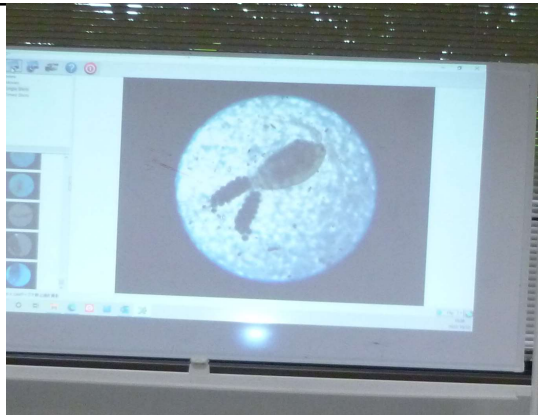
事業実績報告書

様式 2
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-43	講座名	のぞいてみよう！プランクトンの世界
記載日	#####	団体名・企業名	自然観察グループ

顕微鏡を使い、普段意識すらされない身近な小さな生き物たちの世界を垣間見る。猪高緑地における2つの池を場に、池の水を採取及び調べたいご家庭の身近な水を持ってきて頂き、顕微鏡を使って観察する。初めに、スタッフが顕微鏡の使い方と資料（プレパラート）の作り方を教えた後は、自由に作り、観察してもらう。発見した生き物は全員で見てもらい、拡大して映写も行う。プランクトンが少ない場合はネットを使って圧縮し、発見をしやすくする。実際はプランクトンだけでなく底生生物（ネクトン）を含む観察となる。しっかりした顕微鏡を使っただけの観察が一般家庭ではその機会がほとんどないので、「異世界」を知るチャンスをつくる。



※写真1の説明

2022/10/15 塚の杵池にて採取して観察
「ほんとに居るのかなあ？」

※写真2の説明

2022/10/22 すり鉢池の水から「ケンミジンコの仲間を投影 卵を持っています。」

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

スタッフの間の勉強会の時の反応が忘れられない。「わーっ！可愛いっ！」の連発。
この講座は元々は子どもの講座として始まりました。さりどて、スタッフのこの反応を無駄にではなく、一般の大人の方々にも味わってもらいたく、親子講座として企画しました。
見事に的中！顕微鏡は小学生時代依頼触ったことがない方が約半数、この方面が好きなご家庭でも、上手に見ることができなかつたりしていました。身近にある別世界への招待状はその役目を十分に果たしたと思います。生きて動いているミジンコやプラナリア、鞭毛を持つ植物プランクトンなど驚愕の連続でした。さらに練習を重ね、美しい植物プランクトンの世界にもいざなえたらうれしいと思います。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)

・たくさんの指導員の方から丁寧な説明をしていただき、楽しい時間がすごせましたし、知識が増え、気づきがたくさんありました。本当にありがとうございました。普段の生活ではこのような体験をすることが難しいので、この様な機会をいただき、大変ありがたく思います。・探して、発見して、観察して、子供時代に帰った感じで楽しめた。拡大して“小さい動植物”を見ることで、単純さに没頭した。・顕微鏡を自由に扱って、自由にプランクトンを見せて頂けて、楽しかった。・子供に興味があってもなかなかうまく見せてあげられなかったが、今日はたくさん見られて良かった。